

## 倶多楽火山

### ○大正地獄の熱水温度、組成から推定された地化学温度と日和山噴気温度

5月16日の噴騰活動後、熱水組成から推定された地化学温度は230℃前後を保ち、大きな変化はない。熱水温度も6月中旬以降は安定し、約70℃で推移した。いずれも噴騰活動が始まる前の数年間と較べるとやや高い。同様に噴騰活動に先行して上昇した日和山の噴気温度も依然として高い状態にある。

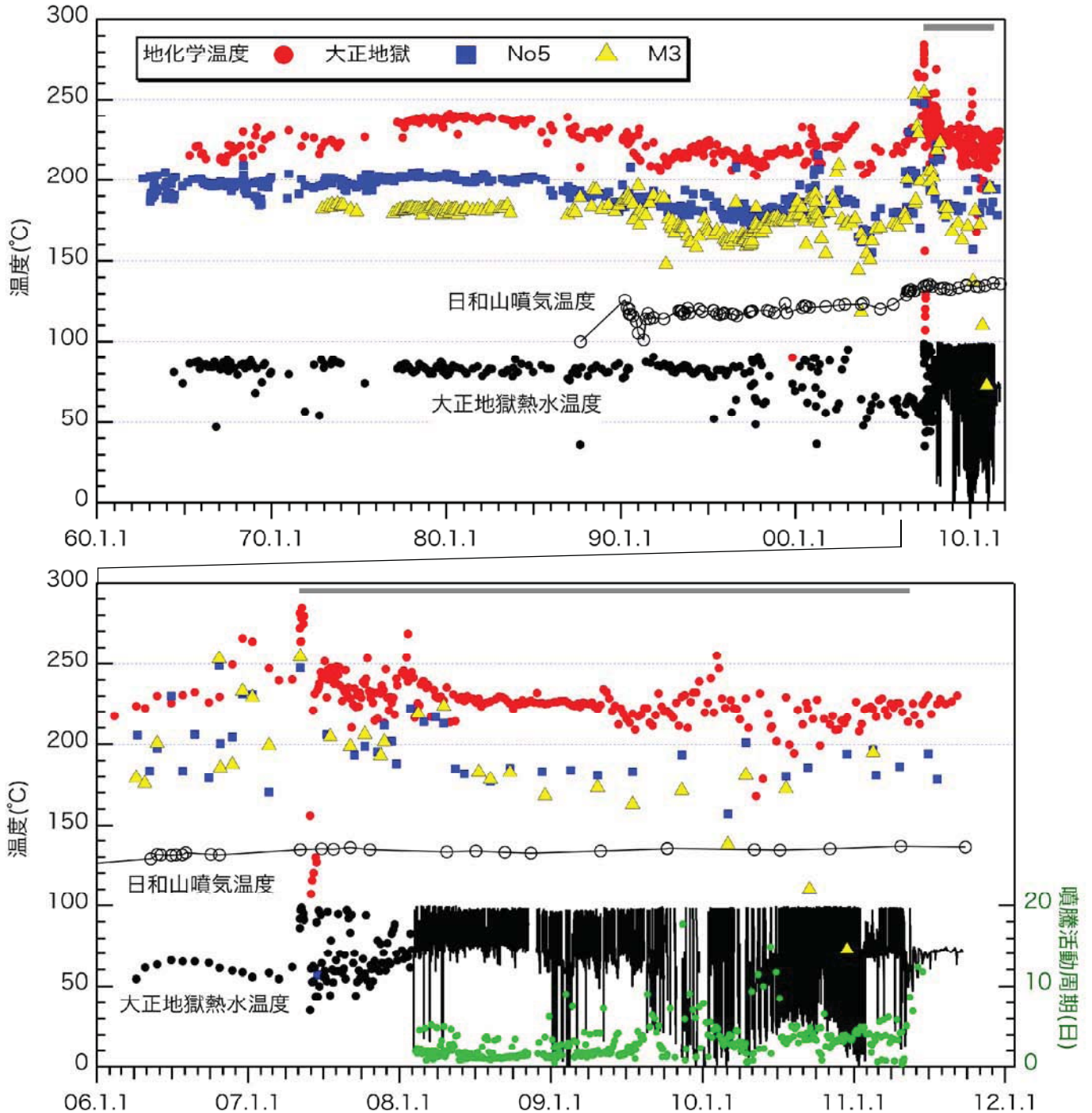


図1. 大正地獄の熱水温度、熱水組成から推定された深部熱水温度および日和山噴気温度の経年変化. 図上部の灰太線は噴騰活動期間を示す. 2008年2月以降の大正地獄の熱水温度は満水面下約5mの深さにおける連続観測値. なお下図には噴騰活動周期も示した.

(安孫子・大島)

倶多楽火山